

セントライ青果 コロナ感染予防対策の基本的な方針

国や県の基本的対処方針を踏まえ、基本的感染防止対策の徹底やテレワークの推進等、社外との会議においてもWEB会議に切り替える等の取り組みを推進します。

出張・外出の注意点

- 混雑した場所や感染リスクが高い場所は、避けて行動する。

1月15日～

緊急事態宣言対象地域及びまん延防止等重点措置が適用されている都道府県への不要不急の出張・旅行の原則禁止、その他地域への不要不急の出張・旅行は自粛すること。

すべての地域において飲食を伴う出張・外出は原則禁止とする。

基本的な感染防止対策の徹底

- 「感染しない、感染させない」を徹底
- 会食・飲食する際は、同一グループで同一テーブルに4人までを目安に（同居家族等は除く）、飲食する時だけマスクを外し、会話の際には「マスク会食」を徹底する。また、「大声で騒ぐこと」は、飛まつ感染につながるため絶対しないように徹底する。

職場クラスターを防ぐ感染防止対策

- 職場での手指消毒、マスク着用、職員同士の距離確保、換気の励行、複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状が見られる従業員の出勤自粛、WEB会議の活用、**感染リスクが高まる「5つの場面」**を避ける行動などの感染防止対策を徹底する。
- 特に、休憩室、更衣室、喫煙所等、職場での「居場所の切り替わり」の周知徹底。
- 従業員に、基本的な感染防止対策の徹底を呼び掛け。

会議等(対面)での対策

- 多数の人が集まる会議については、人と人の距離の確保・マスクの着用・手指衛生・大声での会話の自粛など、「基本的な感染防止対策」を徹底する。

ワクチン接種を終えた方も含めて、日頃から、「三つの密」が発生する場所を避け、大人数や長時間におよぶ飲食など感染リスクが高まる「5つの場面」では、マスクの着用、手指消毒等、基本的な感染防止対策を継続徹底する。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。

場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話

場面④ 狭い空間での共同生活

場面⑤ 居場所の切り替わり

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。
- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。